

ポスト3.11の今

時の証言はわれらとやがて来る世代へ何を黙示するのか

『日本映画名作全史』猪俣勝人著
社会思想社(1975年)所収



環境社会学 / 公害史 研究者 学生 一般向け

解説冊子付き



著作権処理済

個人 / 団体貸出 館内 / 館外上映

1974年



莫大な税金を投入し続け行われる砂防工事

2011年



放射能に汚染されたハゲ山

国策・企業が引き起こした被害民30万人超の大惨事と環境破壊

—^{ヤマ}銅山は閉じても残る鉍毒、煙害でハゲた山々

明治のはじめから100年余りつづく渡良瀬川下流の鉍毒被害

上流の足尾では閉山で雇用がなくなる先行き不安にゆれながら

ハゲ山観光 温泉開発に一縷の望みを託すも

崩れ落ちるハゲ山へ止めどない砂防工事がつづく

“公害の原点”にみる加害企業・政・官の振る舞いと翻弄される人々
容赦ない自然の営みのなかでのみ生存可能な人の存在を炙り出す

<記録映画>

足尾 74 夏

デジタル復元版 2011年制作 ヤマプランニング作品

…そしてフクシマ原発事故の2011秋

撮影・構成 山口豊寧 モノクロ パートカラー / 102分 / 原版8ミリ 1974年制作 / デジタル復元版 2011年制作 / ヤマプランニング作品



廃墟となった社宅

【お問合せ】販売元 (株) 放送映画製作所東京支社 Tel: 03-5202-6061 Fax: 03-5202-6066

E-mail inform@evr-online.com URL http://www.evr-online.com

覆すことができぬ時の証言。3.11 フクシマの構造と重ねあわせ 今よみがえる

<記録映画>

足尾74夏

…そしてフクシマ原発事故の2011秋

撮影・構成 山口豊寧

原版 8ミリ 1974年 デジタル復元版 2011年 ヤマプランニング制作



煙害で周囲の山々を枯らした古河鉛製錬所



日本のグランドキャニオンと銘打ち 観光開発が見込まれた渓谷



鉛毒の源 谷を埋め尽くした廃棄物

‘74年の「足尾」は今の「フクシマ原発問題」を解く鍵につながる。
この映画はわれわれの未来をとりもどすための道しるべだ。

長竹孝夫（東京新聞編集委員）

記録映画の質を決定するのは視点だ。

この映画は単なる公害映画ではない作品。

大貫寅吉（映画評論家）キネマ旬報 1975年春号より



閉山後の観光開発を願う新直利音頭

敗残の山足尾、滅亡の町足尾。しかし中にはまだ操業の再開を待ち望む人もいる。
それら荒涼たる画面に、バッハの音楽が何か心にしみるような感銘をよぶのである。

猪俣勝人著『日本映画名作全史』社会思想社 1975年より

カメラが捉えた閉山1年後の足尾

…そしてフクシマ原発事故の2011秋

100年以上つづく鉛毒被害と生態系の破壊

今の利益は企業 負の遺産は民衆と未来世代へ

“公害の原点”にみる加害企業・政・官の振る舞いと翻弄される人々。
100年すぎてなお「事後処理」が今なおつづく足尾のハゲ山と鉛毒。
このフクシマと酷似した状況は何を物語るのか。
日本公害史の原点を記録した映像が、今、わたしたちに問いかける記録映画。

<貴重な歴史的資料も発掘>

明治以来、被害農民に唄い継がれ
最後の唄い手となった老婆が唄う
鉛毒悲歌の貴重な録音も挿入。

明治のはじめから100年余りつづく渡良瀬川の鉛毒被害。上流の足尾では雇用がなくなる先行き不安にゆれながら、ハゲ山観光、
温泉開発に一縷の望みを託すも、崩れ落ちるハゲ山への止めどない砂防工事がつづく。

●1974年、銅山は閉じても残る鉛毒 煙害でハゲた山々…

日本の近代化とともに操業した鉛山周辺の山々の谷には鉛毒の源となる鉛滓が残存。下流域の鉛毒被害のメカニズムが明かされる。

●加害企業の城下町から観光の町へ脱皮か

人々の不安には政策の甘言が流布するのは今も昔も同様。翻弄される町民の姿がそこに。

●「鉛毒は国策だった」という免罪符、そして「生活のためには仕方ない」という町の声

大規模な環境破壊、私企業の後始末に税金がつぎ込まれる構造が見え隠れしていた。

●崩れ落ちるハゲ山の果てしない砂防工事と植林

山の崩落は自然にとっては回復過程。破壊された環境は自然の摂理のうちのみ回復されることの動かし難い現実が顕現する。

●人は生態系のなかでのみ持続的に生きられる

被害農民は環境と共生する大切さ、人間観、農業のあり方にたどり着いた。



「農業は環境中の生物としての人間の食べ物をつくることを目指すべき。工業製品と違う」

(株)オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101